

中小企業いばらき

December

12

2021 No.758

クローズアップ

●第73回中小企業団体全国大会

“人を『^{つな}絆ぐ』・組織を『^{むす}結ぶ』・地域を『^{つむ}紡ぐ』”

～ポストコロナは変革の時代、

連携と革新で躍進する中小企業へ！～”

CONTENTS

- 1 クローズアップ
- 8 ニュースフラッシュ
- 11 インフォメーション
- 13 日本列島組合最前線
- 14 業況レポート
- 17 経済・労働リサーチ
- 18 中央会だより



第73回 中小企業団体全国大会

11月25日、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜国立大ホールにおいて、全国から約1,700名の中小企業組合の代表者らが参加（本県からは22名が参加）し、「第73回中小企業団体全国大会」が開催されました。

大会は、「人を『絆ぐ』・組織を『結ぶ』・地域を『紡ぐ』～ポストコロナは変革の時代、連携と革新で躍進する中小企業へ！～」をテーマに掲げ、中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充、労働・雇用・社会保険料対策の推進、積極的な事業活動を支える環境整備等21項目の要望事項を基に、大会決議案を採択しました。本号では、同大会の概要、採択された大会決議案等を紹介します。

1 第73回中小企業団体全国大会の概要

1. 開催の目的

昨年来、全世界を巻き込む新型コロナウイルス感染症の猛威により、我が国の経済は大きな影響を受けています。

また、コロナ禍は経済はもとより、社会の在り方や働き方など、さまざまな分野で新たな課題を、私達に提起しています。

ポストコロナは大きな「変革の時代」です。

この変革の時代において、中小・小規模事業者が将来にわたって成長、躍進していくためには、事業再構築やデジタル化による生産性の向上など、経営革新や経営基盤の強化にしっかりと取り組むことが必要であり、これからが正念場です。

そして、この一年間、私たちはこうした難局をお互いの力を合わせて乗り越えていく「共助」の大切さを改めて痛感してきました。

まさに、相互扶助の精神を基本とする中小企業の連携組織の存在意義と有効性が真に評価されるときが来たといえます。

本大会では、大会テーマに「人を『絆ぐ』・組織を『結ぶ』・地域を『紡ぐ』」と掲げました。

「人」のつながりで「組織」ができ、「組織」が躍動することで「地域」が豊かになります。「人」が楽しく生活できる「豊かな地域社会」をつくることが、地域を支える「中小企業」や「組合等連携組織」、そして「中央会」の大切な役割です。

ポストコロナの変革の時代に、こうした役割を果たしていくために、私達は更なる連携と革新を進め、持続的な発展を目指していくことが重要です。

コロナ禍を乗り越え、中小企業の更なる成長、発展の契機となるメッセージを横浜から力強く発信していきたいと思えます。

〈第73回中小企業団体全国大会のテーマ〉

人を『絆ぐ』・組織を『結ぶ』・地域を『紡ぐ』
～ポストコロナは変革の時代、連携と革新で躍進する
中小企業へ！～

2. 主催

- ・全国中小企業団体中央会
- ・神奈川県中小企業団体中央会

3. 日時及び場所

- ・開催日時
令和3年11月25日（木）午後2時～4時30分
- ・開催場所

「パシフィコ横浜国立大ホール」

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

4. 後援及び協賛

・後援

経済産業省、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、関東経済産業局、神奈川県、横浜市、関東甲信越静岡ブロック中小企業団体中央会

・協賛

(株)商工組合中央金庫、(株)日本政策金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構、(独)勤労者退職金共済機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、(公財)全国中小企業振興機関協会、(一社)全国信用保証協会連合会、(有)エヌ・エス・エイサービス 他

5. 全国大会記念講演会

大会の開催に先立ち、神奈川県内の組合の事例発表、小泉進次郎前環境相を迎えての記念講演会が開催されました。

◇事例発表「人・組織・地域の連携が持続可能な社会を切り拓く」

- ①橋本商店街協同組合（組合アプリの開発など）
- ②神奈川県室内装飾事業協同組合（SDGsの取り組みについてなど）

◇小泉進次郎前環境相による記念講演

「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて＝SDGs・脱炭素社会への取組と中小企業」



6. 大会プログラム

◇オープニングセレモニー

- 1 開会
- 2 国歌演奏、団体歌演奏
- 3 開会挨拶
- 4 来賓紹介
- 5 来賓祝辞
- 6 議長・副議長選任
- 7 議事
 - (1)決議経過報告
 - (2)議案上程
 - (3)意見発表
 - (4)議案採決

- 8 大会宣言
- 9 表彰式
 - (1)優良組合
 - (2)組合功労者
 - (3)中央会優秀専従者
- 10 次期開催地発表
- 11 大会旗継承
- 12 次期開催地会長挨拶
- 13 万歳三唱
- 14 閉会

II 第73回中小企業団体全国大会の内容

1. 開会挨拶

全国中央会の森洋会長が「新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言やまん延等重点措置期間の長期化、それに伴う行動制限等により、社会経済活動が停滞する日々が続く中、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた経済活動の再開に向けた動きが加速している。しかしながら、コロナ前と同じ事態には戻ることが難しいとされる今日において、より一層の自助努力に加えて、中小企業組合組織の原点である相互扶助の精神に立ち返り、今こそ団結がなせる相乗効果を強力に発揮していくための努力が求められる。全国中央会及び神奈川県中央会では“人を『絆ぐ』・組織を『結ぶ』・地域を『紡ぐ』”を今大会のスローガンに掲げ、中小企業・小規模事業者の生産性向上に向けた取り組みを積極的に支援していく所存である。」と述べた。



開会挨拶を行う全国中央会の森会長

2. 来賓祝辞

萩生田光一経済産業大臣、武部新農林水産副大臣、黒岩祐治神奈川県知事、山中竹春横浜市長、関根正裕株式会社



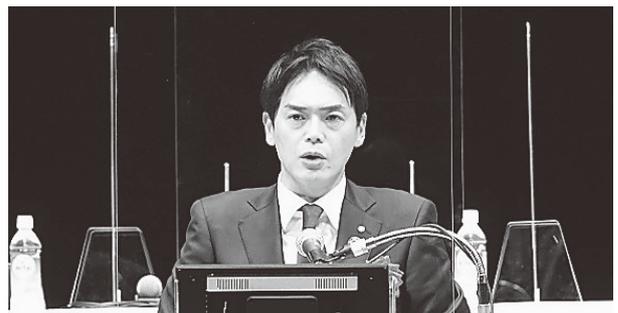
萩生田経済産業大臣



武部農林水産副大臣



黒岩神奈川県知事



山中横浜市長



関根商工中金代表取締役社長



後藤厚生労働大臣

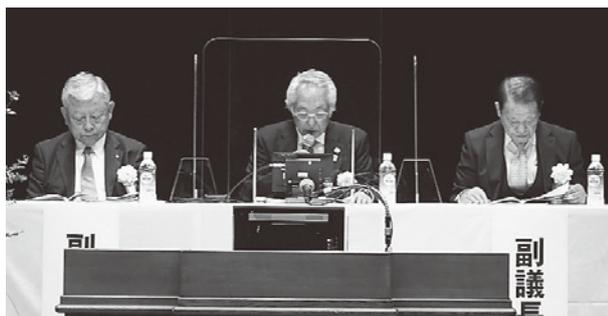
商工組合中央金庫代表取締役社長が祝辞を述べ、後藤茂之厚生労働大臣がビデオメッセージで祝辞を述べた。

3. 議事、決議経過報告、議案上程、意見発表、議案採決、大会宣言

議事は神奈川県中央会の坂倉徹副会長が議長に、千葉県中央会の平栄三会長、長崎県中央会の石丸忠重会長が副議長となり進行。佐藤哲哉全国中央会専務理事が決議経過報告(前回大会で決議された要望事項の国等への要請活動報告など)を行うとともに本大会での議案(要望事項)を上程した。

続いて、徳島県中央会の布川徹会長の意見発表の後、「中小企業・小規模事業者等の経営強靱化・成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など21項目の大会決議案が採択された。(4ページ参照)

その後、神奈川県中小企業青年中央会の碓谷友貴会長が声高らかに大会宣言を宣した。(4ページ参照)



議長及び副議長

(左から) 長崎県中央会の石丸会長、神奈川県中央会の坂倉副会長、千葉県中央会の平会長



決議経過報告を行う全国中央会の佐藤専務理事



意見発表を行う徳島県中央会の布川会長



大会宣言を行う神奈川県中小企業青年中央会の碓谷会長

4. 表彰式、次期開催地(長崎県)の発表、大会旗承継、万歳三唱

中小企業組合の振興発展に貢献した優良組合35組合、組合功労者76名、中央会優秀専従者20名の表彰が行われた。本県からは、優良組合として茨城県納豆商工業協同組合(笹沼一弘理事長)、茨城県印刷工業組合(松本隆史理事長)、組合功労者として照沼武夫氏(協同組合勝田商店連盟理事・前理事長)、森田敏男氏(茨城県コンクリート製品協同組合理事・元理事長)が受賞した。



優良組合の表彰を受けた笹沼理事長(左)と松本理事長(右)

また、次期全国大会開催は、2022年11月10日(木)に長崎県長崎市で開催されることが発表され(5ページ参照)、大会旗が全国中央会の森会長から長崎県中央会の石丸会長へ継承された。

その後、豊永厚志独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長が万歳三唱を行い、閉会した。



大会旗継承 左から神奈川県中央会の坂倉副会長・全国中央会の森会長・長崎県中央会の石丸会長

III 第73回中小企業団体全国大会で決議された要望事項

誌面の都合で項目のみの紹介となりますが、決議の全文は、全国中小企業団体中央会のホームページ(<https://www.chuokai.or.jp/>)でご覧いただけます。

第73回中小企業団体全国大会決議

第73回中小企業団体全国大会

決議

全国中小企業団体中央会
神奈川県中小企業団体中央会

我が国は、人口減少と急速な高齢化など社会経済の構造的な課題に加えて、度重なる自然災害の発生や、緊急事態宣言等が解除され徐々に経済活動再開の動きが見られるものの1年半以上も猛威を振るいつつ新型コロナウイルス感染症等の影響等により、中小企業・小規模事業者の経営は、事業継続や雇用維持など危機的状況が続いている。

中小企業・小規模事業者は、これまで幾多の困難に見舞われてきたが、そのたびに組合等連携組織の力を結集し、これを打破してきたところである。これまでの困難な局面において、中小企業組合等が果たしてきた役割を改めて想起し、中小企業・小規模事業者の直面する数々の課題においては、中小企業組合等の連携力で解決していくことが必要である。

さらに、中小企業・小規模事業者がこの難局を乗り越え、地域経済を支え続けるためには、個々の自助努力だけでは限界があり、中小企業・小規模事業者が協同して経営資源を補完・補強し合うことが効果的であることから、これを支援するため、国等からの迅速かつ手厚い支援策が不可欠である。

このため、国等は、長期化する新型コロナウイルス感染症の早期収束とコロナ対応で困窮する中小企業・小規模事業者が安心して事業継続が行える環境の整備、ポストコロナ時代の経済社会変化を見据えた新分野展開などの事業再構築の支援、持続的な成長、豊かな地域経済社会の実現に向け、全国の約3万の組合等からの生の声を踏まえた本決議事項の実現に強く取り組まねばならない。

第73回中小企業団体全国大会決議項目

I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充

1. 新型コロナウイルス感染症・多発する災害からの経済再生支援策の拡充
2. 中小企業・小規模事業者・組合の成長促進投資への支援強化
3. 中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた事業承継・事業継続に関する対策の強化
4. 中小企業団体中央会の指導体制・支援機能の拡充・強化、実態やニーズに即した組合制度の再整備
5. 地方創生推進に向けた対策の拡充

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 新型コロナウイルス感染症の影響長期化に対する配慮
2. 働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮
3. 中小企業の人材確保・定着対策
4. 地域の実情を踏まえた最低賃金の設定
5. 外国人技能実習制度の運用の円滑化と制度の拡充
6. 外国人材の受け入れ体制の整備
7. 障害者雇用への中小企業支援策の拡充
8. 国による職業訓練機能の拡充・強化
9. 社会保険制度等の整備

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

大会宣言

宣言

本日、中小企業団体の代表は、「人」を「絆ぐ」、組織を「結ぶ」、地域を「紡ぐ」。ポストコロナは変革の時代、連携と革新で躍進する中小企業へ！をテーマに、ここ神奈川県横浜市に集い、約3万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議した。中小企業・小規模事業者、とりわけ、飲食・宿泊・サービス業等の事業者や、これらの関連事業者は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を必死に受け止め、堪え忍んできた。その努力が一刻も早く報われるよう、国等に対して、効果的なコロナ対策、医療体制の整備を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

- 一、万全な資金繰り対策・消費喚起対策による早期景気回復
- 一、デジタル化・事業再構築等の投資支援策の拡充・強化
- 一、震災復興・豪雨風水害対策の拡充
- 一、実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、安価・安定なエネルギー・原材料供給体制の確立
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

本日参集した一同は、ポストコロナの変革の時代を切り拓くべく、積極果敢に行動することを決意する。

右宣言する。

令和三年十一月二十五日
第七十三回中小企業団体全国大会

第73回中小企業団体全国大会 被表彰者のご紹介（茨城県関係者）

表彰式では、優良組合35組合、組合功労者76名、中央会優秀専従者20名の表彰が行われ、本県からは、優良組合として、茨城県納豆商工業協同組合及び茨城県印刷工業組合、組合功労者として、協同組合勝田商店連盟・照沼理事（前理事長）及び茨城県コンクリート製品協同組合・森田理事（元理事長）が表彰されました。誠にありがとうございます。

優良組合

茨城県納豆商工業協同組合

理事長 笹沼 一弘

設立年月日 昭和25年2月24日

組合員数 18人

専従者数 なし

主な共同事業 ①経営安定、②消費喚起
③品質安定、④地域活性



昭和25年、原料の大豆の確保、及び業界の安定を図るため組合を設立。現在は、関係団体と協力して納豆の消費喚起、地域の活性化を目的としたイベントを通年で実施し、組合員企業の販路拡大につなげる等組合員の経営安定に寄与。

また、全国納豆協同組合連合会主催の全国納豆鑑評会への出品や、組合員企業商品の自主検査を行うなど、業界の持続・発展にも尽力している。

優良組合

茨城県印刷工業組合

理事長 松本 隆史

設立年月日 昭和30年11月18日

組合員数 34人

専従者数 1人

主な共同事業 ①共同受注



昭和30年、印刷業者の事業機会の確保、業界全体の発展を図るため組合を設立。組合員のニーズに沿って、経営や印刷技術等に関する情報提供を行うとともに、各種研修会を開催している。また、従来から茨城県と「著作権等知的財産の取扱いに関する勉強会」を開催する等、知的財産権の取扱いの改善に積極的に取り組み、印刷業界の改善・発展に尽力している。

組合功労者

照沼 武夫

協同組合勝田商店連盟 理事

役員勤続年数 26年

主な共同事業 市の指定ゴミ袋等の共同購買事業、歳末大売出し事業等



組合設立前の任意団体の時から地域の振興に尽力し、平成7年9月の組合設立時から平成22年5月までの15年9カ月にわたり、理事長として豊かな経験と見識を持って、歳末の大売り出し事業や、市との契約による市指定のゴミ袋の取扱い販売事業などに努めた。

現在も理事として、組合運営に尽力し、市の商業の活性化に寄与している。

組合功労者

森田 敏男

茨城県コンクリート製品協同組合 理事

役員勤続年数 29年

主な共同事業 コンクリート製品の共同販売



平成4年に理事、平成8年に副理事長を歴任後、平成20年6月から26年6月まで理事長に就任。理事長在任中、東日本大震災に見舞われた際、コンクリート製品の供給に尽力し、迅速な復旧に貢献した。

理事長退任後も、理事として、コンクリート製品の共同販売事業を推進し組合員企業の経営安定に寄与している。また、平成20年6月から27年5月の間、茨城県中小企業団体中央会の理事として県内中小企業の振興発展にも尽力した。

「第74回中小企業団体全国大会」は、長崎県長崎市で開催されます。

開催日時 令和4年（2022年）11月10日（木）14:00～16:30（予定）
開催場所 出島メッセ長崎（長崎県長崎市尾上町4-1）
主催 全国中小企業団体中央会 長崎県中小企業団体中央会

第73回中小企業団体全国大会・茨城県中央会ヨコハマツアーへご参加いただきありがとうございました。

当会では会員の皆さまの利便と親睦を図るため、大会参加と宿泊、懇親会等を盛り込んだ「茨城県中央会・ヨコハマツアー」を開催しました。

阿部会長をはじめ18名の皆さまにご参加いただきました。当日は感染対策を行いながら、交流・親睦を深めました。

